

課程 全日制

教科	家庭	科目	家庭基礎	単位数	2	学年	1	科	工業科
使用教科書		Agenda	家庭基礎	実教出版					
補助教材等		Agenda	家庭基礎準拠	学習ノート	実教出版				

1 学習の到達目標

生活様式の多様化が進む現代社会において、主体的に生活を営み、生活の充実向上を生活の営みに係る見方、考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行う。さまざまな人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、主体的に家庭や地域の生活を創造する資質・能力を育成する。

2 学習方法等（授業担当者からのメッセージ）

- 授業は、教科書や副教材など指示された教材を準備する。
- 課題は、全て実施し提出期限を守る。
- 授業中は、学習ノートやプリントを主体的に取り組む。
- よりよい社会の構築に向けて、主体的、対話的で深い学びにおけるグループワークやペアワークを行う。課題解決のために話し合い、レポート作成、発表等の活動に参加する。
- 自立に必要な知識と技術の習得に心掛ける。
- 家庭生活では、授業で学んだ事柄について積極的に取り組む。

3 学習評価

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
科目ごとの評価の観点の趣旨	人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的に捉え、家族・家庭の意義、家族・家庭と社会との関わりについて理解を深め、生活を主体的に営むために必要な家族・家庭、衣食住、消費や環境について理解していると共に技能を身につけている。	生涯を見通して、家庭及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定する。解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現して課題解決する力を身につけている。	さまざまな人と協働し、よりよい社会の構築に向けて課題の解決に主体的に取り組む。地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活を改善と創造し、実践しようとしている。
主な評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ・ 定期考査 ・ 学習ノート ・ 授業プリント ・ 調理実習、制作物 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 授業活動への取り組み状況 ・ 発表 ・ ICT機器の活用状況 ・ 提出物 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 出席状況 ・ 授業活動への取り組み状況 ・ 発表 ・ ICT機器の活用状況 ・ 提出物

4 学習及び評価計画

※評価の観点：(a)知識・技能、(b)思考・判断・表現、(c)主体的に学習に取り組む態度

学期	月	単元	教材	時数	学習内容	評価規準
1 学期	4	・生活設計 自分・家族 ・食生活	教科書 学習 ノート プリント	25	青年期の自立 家族・人生・生き方 家族に関する法律 栄養と食品 栄養素の働き 食品の安全性 豊かな食生活の背景 食事をつくる①	各単元における知識や現状と課題について理解している。(a) 各単元の内容に関して、考察できる。(b) 授業での話し合いや実習に主体的に取り組んでいる。(c) 調理を科学的に理解し、完成できる。(a, b, c)
	5					
	6					
2 学期	7	・災害に備える ・ホームプロジェクト ・消費と環境 ・高齢者 ・社会福祉 ・子ども ・消費 ・住生活	教科書 学習 ノート プリント やさしく 学べる 消費生活 2024	30	住まいの安心・安全 持続可能な社会 SDG s 高齢者を支える制度としくみ 共生社会の実現 子どもと遊び 子どもの権利と福祉 意思決定と契約 消費者問題 消費者保護 消費者力検定 住まいの選択	各単元における知識や現状と課題について理解している。(a) 課題設定、解決方法を考え、計画的に実践している。(b) 実践を効果的にまとめ、他者と共有できる。(b, c) 各単元の内容に関して、主体的に考察できる。(b) 授業での話し合いや実習に積極的に取り組んでいる。(c) 消費者力検定に主体的に取り組むことにより、消費者力を身につけている。(a, b, c)
	8					
	9					
	10					
	11					
3 学期	12	・食生活 ・衣生活	教科書 学習 ノート プリント	15	食事をつくる② 衣服の機能 衣服の材料 衣服管理 安心して衣服を着る 基礎縫い これからの衣服 (サステイナブルファッション)	調理を科学的に理解し、完成できる。(a, b, c) 被服の機能と着装、被服材料について理解している。(a) 衣服管理、着装、これからの衣生活について主体的に考察できる。(b) 実習に主体的に取り組み完成できる。(c)
	1					
	2 3					

合計 70 時間